

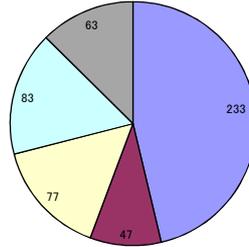
# 景気動向

業況はわずかに改善。  
先行きは製造業、非製造業ともに悪化の見通し。

- 調査時点 平成26年4月調査(26年3月末時点)
- 対象企業 800社
- 回答企業 503社(回答率:62.9%)  
(製造業233社、建設業47社、卸売業77社、  
小売業83社、サービス業63社)
- 調査時期 四半期毎(3、6、9、12月末時点)

DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

回答企業	
製造業	233
建設業	47
卸売業	77
小売業	83
サービス業	63



- 製造業
- 建設業
- 卸売業
- 小売業
- サービス業

## <全産業>

全産業の業況DI(5.9)は、前回(▲7.2)に比べ+13.1ポイント改善を示した。  
業種別では製造業の業況DI(12.0)は、前回(▲8.9)に比べ+20.9ポイント改善を示した。  
建設業の業況DI(6.4)は、前回(34.7)に比べ-28.3ポイント悪化を示した。  
卸売業の業況DI(▲2.6)は前回(▲2.7)に比べほぼ横ばいを示した。  
小売業の業況DI(7.2)は前回(▲27.9)に比べ+35.1ポイント改善を示した。  
サービス業の業況DI(▲7.9)は前回(▲7.9)と同じで横ばいを示した。

## 【3か月先見通し】

(業況)今回=平成26年3月末  
全産業では今回(5.9)から3か月先(▲25.3)と-31.2ポイントの悪化を見通している。  
製造業では今回(12.0)から3か月先(▲20.2)と-32.2ポイントの悪化を見通している。  
建設業では今回(6.4)から3か月先(▲12.7)と-19.1ポイントの悪化を見通している。  
卸売業では今回(▲2.6)から3か月先(▲29.9)と-27.3ポイントの悪化を見通している。  
小売業では今回(7.2)から3か月先(▲42.2)と-49.4ポイントの悪化を見通している。  
サービス業では今回(▲7.9)から3か月先(▲25.4)と-17.5ポイントの悪化を見通している。

## ■全産業の主要4項目DI値

	業況	売上	採算	資金繰り
3月末時点	5.9	5.4	-10.5	1.2
12月末時点	-7.2	-8.6	20.7	-2.1
前回比	13.1	14.0	-31.2	3.3

## ■全産業の業況

業況	3月末時点	12月末時点
良化	28.2	30.3
悪化	22.3	23.1
DI値	5.9	7.2
前回比	-1.3	21.8

## ■3月末時点からみた

### 全産業の業況3か月先の見通し

業況3か月先見通し	
良化	10.1
悪化	35.4
DI値	-25.3

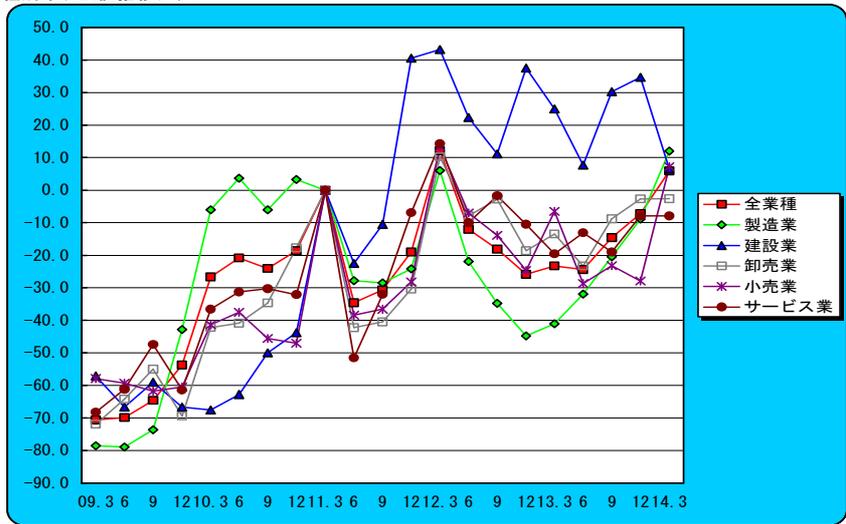
## ■製造業の業況

業況	3月末時点	12月末時点
良化	33.9	24.4
悪化	21.9	33.3
DI値	12.0	-8.9
前回比	20.9	11.6

## ■非製造業の業況

業況	3月末時点	12月末時点
良化	23.3	21.9
悪化	22.6	27.5
DI値	0.7	-5.6
前回比	6.3	4.0

■業種別業況DI値推移グラフ



<製造業>

業況DI値	
今回	12.0
先行き	-20.2
前回比	20.9

対象企業	377
回答企業	233

業況で改善、売上・採算でわずかに改善、資金繰りで横ばいを示した。

<業況>

- ・大幅改善……「織物」、「印刷」
- ・改善……「ニット」、「金属」、「一般機械」、「電気機器」、「精密機器」、「プラスチック」
- ・わずかに改善……「縫製」
- ・横ばい……「酒造」、「窯業・土石」、「鉄鋼・非鉄」、「輸送用機器」
- ・わずかに悪化……「食品」、「木材・木製品」

<売上>

- ・大幅改善……「織物」、「印刷」
- ・改善……「酒造」、「ニット」、「一般機械」、「電気機器」、「精密機器」、「プラスチック」
- ・わずかに改善……「金属」
- ・横ばい……「食品」、「輸送用機器」
- ・わずかに悪化……「縫製」、「木材・木製品」、「窯業・土石」、「鉄鋼・非鉄」

【3か月先見通し】

採算・資金繰りでわずかに悪化、業況・売上で悪化を見通している。

<業況>

- ・わずかに改善……「食品」
- ・横ばい……「縫製」、「精密機器」
- ・わずかに悪化……「織物」
- ・悪化……「ニット」、「木材・木製品」、「金属」、「一般機械」、「電気機器」、「輸送用機器」、「プラスチック」
- ・大幅悪化……「酒造」、「印刷」、「窯業・土石」、「鉄鋼・非鉄」

<売上>

- ・改善……「縫製」
- ・横ばい……「食品」
- ・わずかに悪化……「織物」、「精密機器」
- ・悪化……「酒造」、「ニット」、「木材・木製品」、「窯業・土石」、「金属」、「一般機械」、「電気機器」、「プラスチック」
- ・大幅悪化……「印刷」、「鉄鋼・非鉄」、「輸送用機器」

「原発事故以来、売上は落ち込んだままで、依然として、風評被害が続いており厳しい状況である。」「求人を出しても集まらない。」「復興特需がある一方で、建設業界人手不足等により工程のずれ込みが生じている。雇用費用等の諸経費や原材料の上昇が続き、価格の再値上げが必要。」「仕事があっても単価が低いので、売上が上がらない。景気が良くなった実感はない。」「電気代、燃料代、材料代などの値上がりと消費税増税により採算の悪化が懸念される。」「仕事が海外に流れ、日本に仕事がない。」との声があった。

自由意見

製造業	
○ 原発事故以来、売上は落ち込んだままで、依然として、風評被害が続いており厳しい状況である。	【食品】
○ 輸入原料、重油の値上がりが問題。	【食品】
○ 福島県は、風評被害が進んでいくのではないかと懸念される。	【食品】
○ 人員不足で受注量が消化できず売上が減少している。相双地区は、特に深刻です。	【縫製】
○ 住宅メーカーの占有率が高く、地元工務店は採算割れて淘汰が進んでいる。今から若手を育成しないと製品の修復が出来ない時代が来ます。	【木材・木製品】
○ 消費税増税前の駆け込み需要により、4月からは反動がありそうです。	【木材・木製品】
○ 復興産業集積区域の設定により、同じ市内でも優遇を受けられる所とそうでない所がある。	【印刷】
○ 時代の変化により、国内の取引先は変遷したが、受注は好調に推移している。	【窯業・土石】
○ 地元業界の仕事はだいぶ少なくなり、大手に仕事が偏ってきている様です。	【窯業・土石】
○ 復興特需がある一方で、建設業界人手不足等により工程のずれ込みが生じている。雇用費用等の諸経費や原材料の上昇が続き、価格の再値上げが必要。	【窯業・土石】
○ 3ヶ月先の状況は読めない。忙しい状況は続くと思うが、徐々に減少してくると予想され、機材、人員、財務を見直す必要があると思う。	【窯業・土石】
○ 消費税増税による駆け込み需要の反動が大きい。	【窯業・土石】
○ 仕事があっても単価が低いので、売上が上がらない。景気が良くなった実感はない。	【鉄鋼・非鉄】
○ 消費税8%は価格転嫁できるので問題ないが福利厚生、社会保険、電気代の値上がり分が経営を圧迫し、ベースアップ、賞与は難しい。	【鉄鋼・非鉄】

○ 退職者等の補充社員が集まらない。	【金属】
○ 電気代、燃料代、材料代などの値上りと消費税増税により採算の悪化が懸念される。	【金属】
○ 3月中旬までは消費税増税による駆け込み需要があったが、4月からは受注減になる見込み。	【金属】
○ 発注企業の合理化(海外発注、不採算部門の生産停止等)推進の影響が大きい。	【一般機械】
○ 円安傾向でも仕事が戻ってこない。	【一般機械】
○ 駆け込み需要が一段落して、次の予想がつかない。	【電気機器】
○ 仕事が海外に流れ、日本に仕事がない。	【電気機器】
○ 消費税増税後の消費の落ち込みが懸念される。	【電気機器】
○ 既存ビジネスで受注が取れつつあるが、人材不足により厳しい状況である。	【電気機器】
○ 重機及びトラック部品に関して、国内においては、災害復興、オリンピック等により増産(販売増)の見通しであるが、輸出が不透明の為、輸出減とみた場合、減産、減収と考える。	【輸送用機器】
○ 消費税増税の影響がどの程度かわかりませんが、4月から5月に生産調整に入るため売上・収益ともに悪化。	【輸送用機器】
○ 消費税増税が4月以降どのように影響するかが心配です。	【精密機器】
○ 求人を出しても集まらない。	【繊維・プラスチック】
○ 特に改善予定なく、採算の目処が立たない。	【プラスチック】
○ 樹脂、梱包材などの値上げや内製化に向けての外注先からの取り込みなど、環境は悪化の要因のみ。	【プラスチック】

## <建設業>

業況DI値	
今回	6.4
先行き	-12.7
前回比	-28.3

対象企業	67
回答企業	47

採算・資金繰りでわずかに改善、業況・売上で悪化を示した。

<業況>

・「土木」、「建築」ともに悪化を示した。

<売上>

・わずかに悪化・・・「土木」  
・悪化・・・・・・・・「建築」

<採算>

・わずかに改善・・・「土木」  
・横ばい・・・・・・・・「建築」

<資金繰り>

・「土木」、「建築」ともにわずかに改善を示した。

【3か月先見通し】

業況・売上・採算・資金繰り全てでわずかに悪化を見通している。

<業況>

・わずかに悪化・・・「土木」  
・悪化・・・・・・・・「建築」

<売上・採算>

・横ばい・・・・・・・・「建築」  
・悪化・・・・・・・・「土木」

<資金繰り>

・わずかに悪化・・・「建築」  
・悪化・・・・・・・・「土木」

「昨年が完成工事高等含め良好すぎたため、比較することが困難」「工期遅れによる支障が様々に始まっております。予定利益が下がる原因となっております。」「今後の予想はしづら  
いが、消費税増税の影響が今後どのように反映されるかにより、業況が変化してくるのではな  
いか。」「いわきの建設業界は、人手不足になっている。また、材料不足にもなっていて仕事が  
進まない状態です。」といった声があった。

## 自由意見

### 建設業

○ 昨年が完成工事高等含め良好すぎたため、比較することが困難。	【建設】
○ 工期遅れによる支障が様々に始まっております。予定利益が下がる原因となっております。	【建設】
○ 今後の予想はしづらいが、消費税増税の影響が今後どのように反映されるかにより、業況が変化してくるのではないか。	【建設】
○ いわきの建設業界は、人手不足になっている。また、材料不足にもなっていて仕事が進まない状態です。	【建設】

## <卸売業>

業況DI値	
今回	-2.6
先行き	-29.9
前回比	0.1

対象企業	115
回答企業	77

業況・売上・採算で横ばい、資金繰りでわずかに悪化を示した。

<業況>

・大幅改善・・・・・・「機械器具」  
・改善・・・・・・・・「衣服」、「鮮魚」  
・わずかに改善・・・「その他」  
・わずかに悪化・・・「青果物」  
・悪化・・・・・・・・「飲食料」、「建築材料」

【3か月先見通し】

採算・資金繰りでわずかに悪化、業況・売上で悪化を見通している。

<業況>

・横ばい・・・・・・・・「その他」  
・わずかに悪化・・・「飲食料」、「青果物」、「建築材料」  
・悪化・・・・・・・・「衣服」、「鮮魚」  
・大幅悪化・・・・・・「機械器具」

「前年と比較すると良化しているが、震災や原発事故前とは比べようもないほど悪化したままで  
す。」「原発事故による風評被害が一向に回復しない状況です。」「復興特需に一服感が生じ始  
めた様に感じる。今後は、身を引き締めていかなければと感じる。」といった声があった。

**自由意見**

**卸売業**

- 消費税増税がどう作用するかが重要。駆け込み需要後が懸念される。【飲食料】
- 米穀販売業は、風評被害の影響が強く、首都圏での福島県産の売上が確保出来ず、厳しい状況が続いている。【飲食料】
- 前年と比較すると良好化しているが、震災や原発事故前とは比べようもないほど悪化したままです。【飲食料】
- 原発事故による風評被害が一向に回復しない状況です。【青果物】
- 農家との直接取引なので、高齢化による作付けの減少が影響を及ぼしている。【青果物】
- 1～2月で売上を伸ばした一方で、3月に反動が来ているようである。【機械器具】
- 助成金による設備投資及び消費税増税による駆け込み需要があったが、4月以降の受注等は激減している。【機械器具】
- 復興需要に一般感が生じ始めた様に感じる。今後は、身を引締めていかなければと感じる。【建築材料】
- 仕事は多くあるが、職人の数が少ないのが問題。【建築材料】
- 現時点では、消費税増税による駆け込み需要で売上は上がっているが、先行きが心配である。【建築材料】
- 仕入単価の上昇なるも、販売単価の修正が困難。人手不足、人件費、運送費等の上昇で、採算が取りにくい。【その他】
- 消費税増税がどう影響するかわからない。【その他】

**<小売業>**

業況DI値	
今回	7.2
先行き	-42.4
前回比	35.1

対象企業	138
回答企業	83

業況・売上・採算で改善、資金繰りでわずかに改善を示した。

〈売上〉

- ・大幅改善……「自動車販売」、「家具・建具」、「大規模店」
- ・改善……「衣料」、「飲食料」、「家電品」
- ・横ばい……「中小スーパー」
- ・わずかに悪化……「その他」

〈採算〉

- ・大幅改善……「自動車販売」、「大規模店」
- ・改善……「衣料」、「家電品」、「家具・建具」
- ・わずかに改善……「飲食料」、「その他」
- ・悪化……「中小スーパー」

【3ヵ月先見通し】

資金繰りでわずかに悪化、業況・採算で悪化、売上で大幅悪化を見通している。

〈売上〉

- ・わずかに改善……「中小スーパー」、「その他」
- ・横ばい……「大規模店」
- ・悪化……「衣料」、「飲食料」
- ・大幅悪化……「家電品」、「自動車販売」、「家具・建具」

〈採算〉

- ・大幅改善……「大規模店」
- ・改善……「中小スーパー」
- ・わずかに改善……「衣料」
- ・横ばい……「その他」
- ・わずかに悪化……「飲食料」
- ・悪化……「家電品」
- ・大幅悪化……「自動車販売」、「家具・建具」

「スキー客や観光客が減っていますが、原発事故からも3年経ち、回復してくる事を期待しています。」「消費税増税に伴い、価格表示切替等の対応に経費が掛かり、経営内容が苦しい。」「消費税増税による駆け込み需要はあるが、4月以降の売上は減少する予想。」といった声があった。

**自由意見**

**小売業**

- スキー客や観光客が減っていますが、原発事故からも3年経ち、回復してくる事を期待しています。【中小スーパー】
- 会津地区内では、全般的に景気回復が見受けられない様子です。【中小スーパー】
- 2月上旬から中旬にかけての大雪の為、客数は激減し販売は大幅に減少。4月からの消費税増税は小売店に対し、マイナスの要因が大きいと思う。【衣料】
- 原発事故による風評被害により、農業関係者の所得が激減し、地域商店街は未曾有の苦戦を強いられている。【衣料】
- 消費税増税による消費減を予想している。【飲食料】
- アベノミクスが地方に波及してくる事を願う。【飲食料】
- 特定銘柄の商品しか需要がない。一般的なビール・ワイン等はスーパーかコンビニに顧客が流れてしまっている。【飲食料】
- 消費税増税に伴い、価格表示切替等の対応に経費が掛かり、経営内容が苦しい。【飲食料】
- 業界全体としては、悪化している。【飲食料】
- 業況は若干上向きに推移してきましたが、4月からの消費税増税と材料の高騰が心配です。【飲食料】
- 新店舗になり売上は徐々に上昇しているが震災前の水準に戻るにはまだまだ状況。働く人がいなく、現従業員は過労状態が続いている。【飲食料】
- いわき地区では、人材不足で求人を出しても人材が見つからない状況です。【飲食料】
- 大型小売店の乱立で、小規模自営業は売上が悪化するばかりです。【飲食料】
- 消費税増税による駆け込み需要はあるが、4月以降の売上は減少する予想。【家電品】
- 消費税増税により4月以降の見通しが立たない。【家電品】
- 現在、昨年同期に比べ客数、受注額ともに落ち込んでいる。増税後の受注に対しては、大きな期待は持てない。【家電品】

○ 浜通り地域の農地及び生産者の減少傾向の流れが止まらない中、農業資材などの仕入単価値上げにより厳しい状況になっている。	
○ 消費税増税の影響が心配。	【自動車販売】
○ 消費税増税の為、4月以降の見通しが立たない。	【自動車販売】
○ 消費税増税による駆け込み需要の反動が予想される。	【自動車販売】
○ 消費税増税による駆け込み需要などで、現在は良好です。	【自動車販売】
○ 今は駆け込み需要で売上増加しているが、業種上、4月以降の配達が多く、4月からの増税分をお客様からきちんと頂く事が難しい。	
○ この先の反動を見て対策をとらざるを得ない。	【家具・建具】
○ いわきエリアは、他地区に比して駆け込み特需を実感できなかった。	【その他】

### <サービス業>

業況DI値	
今回	-7.9
先行き	-25.4
前回比	0.0

対象企業	103
回答企業	63

売上でわずかに改善、業況・採算で横ばい、資金繰りでわずかに悪化を示した。

- 〈業況〉
- ・改善……………「運送」
  - ・わずかに改善…「観光旅館」
  - ・横ばい……………「タクシー」
  - ・わずかに悪化…「情報サービス」、「その他」
  - ・悪化……………「自動車整備」

【3ヵ月先見通し】

業況・採算・資金繰りでわずかに悪化、売上で悪化を見通している。

- 〈業況〉
- ・わずかに改善…「その他」
  - ・横ばい……………「タクシー」
  - ・わずかに悪化…「運送」
  - ・悪化……………「観光旅館」、「自動車整備」、「情報サービス」

「宿泊人数が増えない。特に外国人観光客は0に近く、回復しない。消費税増税が4月からの売上に響くと思う。」「燃料価格上昇と人員不足が問題。」「軽油単価の高止まりにより先行き不透明。」「消費税増税の駆け込み需要が見られますが、その反動が懸念されます。」といった声があった。

### 自由意見

サービス業	
○ 3月下旬のみだが、消費税増税による駆け込み需要がある。	【旅館・ホテル】
○ 震災や原子力災害の風評被害が今も続いている。	【旅館・ホテル】
○ 宿泊人数が増えない。特に外国人観光客は0に近く、回復しない。消費税増税が4月からの売上に響くと思う。	【旅館・ホテル】
○ 大河ドラマの好影響があった前年との単純比較はできませんが、前々年よりは良化です。	【旅館・ホテル】
○ 燃料価格上昇と人員不足が問題。	【タクシー】
○ ドライバー不足です。	【タクシー】
○ 消費税増税後どうなるか見極めたいと思います。	【タクシー】
○ 軽油の高騰に歯止めがかからない。	【運送】
○ 建設業や除染作業、または工場労働などへ人が流れ、運送業は仕事・車はあるのに人手がないため事業拡大できない状況にある。	
○ また、燃料の高止まりが続く、仕入れ単価が上昇している。	【運送】
○ 求人を出しているが、なかなか入ってこない状況が続いている。	【運送】
○ 軽油単価の高止まりにより先行き不透明。	【運送】
○ 業況は良くなることはないと思うが、経営内容をイノベーションし、受注減少、過剰人員、諸経費の増加、資金繰りの悪化を改善する。	【運送】
○ 人手不足が顕著になってきております。	【運送】
○ 助成金等で若干の余裕が生まれました。	【自動車整備】
○ 消費税増税による悪影響が懸念される。	【自動車整備】
○ 人手不足。	【自動車整備】
○ 消費税増税の駆け込み需要が見られますが、その反動が懸念されます。	【情報サービス】
○ 人材が集まらない状況が続く	【その他】
○ 作業員の養成や取りまとめの出来る人材の育成、採用等、人的要因の課題が多い。	【その他】